

### 休館中のそらんぽ



そらんぽ四日市  
ホームページ

令和5年2月10日(金)まで休館中の「そらんぽ四日市」。休館中は、空調設備や防犯カメラなどの更新工事が行われています。

普段、皆さんが入れるのは、展示室やプラネタリウムがある1階から5階までですが、実は当館は地下2階まであり、各階に普段は公開していない「バックヤード」と呼ばれるエリアがあります。バックヤードには貴重な資料を保存している収蔵庫やスタジオ、機械室などがあり、職員が展覧会やプラネタリウム番組、イベントの準備をしています。

今回の工事は、そのバックヤードも

併せた全館にわたります。

工事中は、展示物に影響が出ないようプラネタリウムや展示室が隅々までビニールで養生されており、普段とは全く違った光景が広がっています。



空調工事のほか、今日的な環境問題を学べる体験・体感型展示や、より理解を深められるような展示にするために、常設展示の一部を改修しています。詳しい改修内容は、また別の機会に紹介します。お楽しみに。

☎ 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704  
四日市公書と環境未来館 (TEL) 354-8065 (FAX) 329-5792

### 地域の発展に尽くした「三賢人」

下野地区の北山町にある経塚公園きょうづか（市指定史跡）には、「三賢人」と呼ばれる先人たちの顕彰碑が建っています。

この三賢人とは、藤井昇善しょうぜん、下田亨三しゅんざ、大賀賢励けんれいの3人です。藤井昇善は安乗寺の住職で、江戸時代の文久3（1863）年から明治8年の12年間、同寺境内に寺子屋を開き、子弟の教育に尽くしました。この寺子屋は、のちに下野小学校につながっていきました。

下田亨三は、明治22年に誕生した下野村の初代村長で、37年間にわたり村政に力を注ぎました。県や国の町村会要職にも就き、義務教育費の国庫負担実現に尽力しました。

大賀賢励は大鐘町の浄円寺に生まれ、儒学者で、忍藩の藩校である興讓学校の初代教頭の任にも就きました。また、半学舎という私塾を開き、全国から門弟を集め多くの逸材を育てました。

教育や政治に大きく貢献した三賢人は、現在も地区の人々から敬われ、その功績は石碑により伝えられています。



経塚公園（北山町）

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873